



みんな気になる HIVに感染したあとのこと



HIVに感染したら

「HIV 感染=死」ではありません。HIV に感染しても、早く治療を始めれば、エイズの発症が抑えられ、HIV 陽性者と感染していない人の寿命はあまり変わらなくなっています。HIV に感染したことが分かったら早めに受診することが大切です。

治療

HIV 感染症は薬で治療します。1日1回1錠の抗 HIV 薬が普及していますが、1~2か月に1回の注射で治療することも可能です。HIV は治療によりコントロールできる慢性疾患になっています。HIV の治療は定期的に受診し内服や注射を続ける必要があります。HIV の治療費は高額なりますが、各種制度（身体障害者手帳、自立支援医療など）の利用が可能であり、経済的な負担の軽減につながります。

日常生活

HIV は感染力の弱いウイルスなので、性行為以外の日常生活で感染することはありません。食器の共有、トイレ、お風呂、握手、くしゃみなどで移すことはありませんが、歯ブラシやカミソリなど血液が付着する可能性のある器具の共有は避けましょう。性行為の際は必ずコンドームを使用しましょう。

HIV に感染しても早期発見し、継続的な治療を行えば、これまでと同じような社会生活を送ることができます。

効果的な治療を続けていれば
HIVは感染しない。



HIVの新常識。

★ 知っていますか？ U=U (ユー イコール ユー) ★

適切な治療を受け、血液中のウイルス量が十分にコントロールできている状態であれば、性行為で HIV に感染させることはありません。

そのことを **U=U** (Undetectable=Untransmittable) といいます。

<https://hiv-uujapan.o>

U=U



不安な時は

不安な時は 1人で抱え込まずに医師や看護師、保健師、カウンセラー等に相談しましょう。尼崎市保健所でも、HIV・エイズ・性感染症に関する相談をお受けしています。不安なこと、心配なことがありましたらご相談ください。

尼崎市保健所 感染症対策担当

<TEL>06-4869-3062 <FAX>06-4869-3049

